

事業所名 児童発達支援センターすみれ園

公表:令和6年4月1日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容、人数によって部屋の使い分けをしています。	今後も活動内容、人数、子どもの状況に応じて部屋、スペースの使用方法を工夫します。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		クラス担任だけの対応が難しい時間は、グループ担当、フリー職員が連携しています。	現場実情としては、当日の子どもの状況や活動内容によって、職員配置が必要になることがあります。その際は、事業間、法人内施設間で連携します。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		情報伝達等への配慮については、視覚支援等の配慮、クールダウンするための部屋の準備等工夫しています。	今後も生活空間、環境づくり、情報伝達等については、個別に応じた工夫に努めます。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		生活空間は、子どもたちが安心して心地よく過ごせるよう、コーナー遊びのエリアを区切る等の工夫をしています。	活動合わせた環境づくりと共に、子どもが自分で準備・片付けができるような環境づくりを行います。園庭の砂があがりやすい午後の時間の掃除等に取り組みます。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		各担当を中心に職員チームでPDCAサイクルで業務推進に努めています。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者意向を伺ったことを次年度の活動計画や環境設定、業務につなげています。	令和5年度、声をいただいた緊急時対応については、管理計画、見直しを行い、保護者連携のお願いを経て、動くことができるマニュアルにつなげます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在、外部評価を受けておりません。	第三評価の評価項目を活用して自己評価を行っています。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内部研修、法人研修、その他研修の受講をしています。	研修を積極的に行っていきます。
適切な+	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントによる本児の理解した上で、本児・保護者のニーズを聞き、計画書作成をおこなうことに務めています。	現状の分析と短期的見通し、長期的見通しを示しながら、計画作成に努めます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			

支援の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		重点的に取り組んでいく目標の優先順位をつけながら、具体的な支援方法を設定するように努めています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員共有の元、取り組んでいますが、十分とは言えません。	関わる職員全体で共有し、計画に沿った支援の実施を行います。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		発達支援の5領域を柱にした活動計画プログラムに加え、幼児期であること、季節感を大切にしたり行事等を計画実施しています。	実施後の反省と次回への活動につなげています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			今後も子どもたちが安心して過ごすための支援内容、役割分担について共有を行います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当日の支援の振り返りを行い、次につなげています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			今後も記録の徹底に努めます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		子どもの姿を通して、モニタリングを行っています。	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		原則、児発管と担当が出席し共有するようにしています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		努めているが、連携が十分であるとは言えない部分があります。	子ども、子どもを取り巻く家族、地域サポートを考えるにあたり、関係機関との連携が必要。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				今後検討
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				今後検討

関係機関や保護者との連携	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			関係機関連携を進めます。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			卒園後、次のステージにできるだけスムーズに進むことができるよう、情報共有、連携に努めます。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		連携しています。又、センターとしての会議等の実施や専門機関連携、研修受講をしています。	中核機能を果たせるように取り組みます。他機関連携や専門機関研修受講等を積極的に取り組んでいきます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	今年度取り組むことができませんでした。	令和6年度、近隣保育園との交流を計画、実施します。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		自立支援協議会には法人職員、市のネットワーク会議には事業所職員が積極的に参加し、連携に努めています。	今後も地域連携を行い、ネットワークづくりに努めます。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			子どものより良い支援のために、保護者の方との共通理解を持ちサポートできるように努めます。そのための状況、課題整理を行い共通理解を進めます。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラムの支援を行っているか	○		コロナ禍で縮小中止していた参観、懇談会、学習会を少しずつ再開しています。	令和6年度から、保護者参加型のプログラム等を計画実施します。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		随時相談に対応できるように、体制をとっています。	随時対応できる相談体制と職員スキル向上を目指します。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		頻度は少ないですが、クラス懇談会等、定期的に保護者の方に集まっていただく機会を作りました。	保護者会としての組織はありませんが、保護者同士のつながりをサポートできる行事を増やしていきたいと考えています。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応できるように、対応体制整備等努力してまいります。
③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				

	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報保護方針に沿って、個人情報の取り扱いには十分に意識継続に努めます。
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度、クリスマス会の行事等に地域の子ども、保護者を招いて活動を行いました。	地域とのつながりを感じることが出来る年間行事を計画実施します。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		マニュアル策定、想定訓練を行っています。しかし、実際には不十分、見直しが必要な部分があります。また、保護者の方の評価を受け、保護者連携ができるように発信していきます。	緊急時の対応については、保護者への周知方法を検討し、園と保護者が連携して動くことができるように対応していきます。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			非常時に動けるように取り組んでいきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			引き続き、保護者協力をもらいながら、状況確認を行っていきます。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			引き続き、協力連携をもらいながら対応します。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例の経過の把握に努め、同じようなヒヤリハットを起こさないよう、大きな事故につながらないように努力します。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		研修は、事業所では4月、11月実施。法人では8月3月実施しました。意識の継続を行っています。	委員会の毎月のチェック、研修を継続しながら、意識の継続に努めます。チームで取り組む意識を持ちます。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		検討が必要になった場合、施設・法人でガイドラインに沿って検討する仕組みとなっています。	検討が必要になった場合、組織で検討できるように速やかな検討会議の開催等を行います。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。